

ASAGO CITY

第2次朝来市経済成長戦略（概要版）

稼ぐ力のあるまちへ
持続可能な未来に向けて

令和6年3月

第2次朝来市経済成長戦略策定の目的

急激に大きく変化する時代潮流を捉えるとともに、「朝来市経済成長戦略後期計画」（平成26年度～令和5年度）の評価を踏まえ、将来にわたる成長・持続可能な地域経済を構築していくため本戦略を策定しました。

第2次朝来市経済成長戦略策定の位置づけと計画期間

朝来市総合計画の産業部門及び市の経済成長に関連する横断的な分野における目標や基本方向を関係機関が共有するとともに、具体的な施策を一体で実施するための指針になります。

この経済成長戦略の期間は、令和6（2024）年度から令和10（2028）年度までの5年間とします。

■朝来市を取り巻く状況

わが国の経済を取り巻く環境の変化

（1）人口減少と産業構造を支える人口構造の変化

- 国の令和5年推計でも年少人口、生産年齢人口の減少が進展
- 引き続き、就業者不足や多様な人材の確保・育成が焦点

（2）価値観・消費行動の多様化と新たな枠組みへの期待

- 物質的な充足、価値観・ライフスタイルの多様化に伴う消費行動の変化
- コミュニティビジネスやソーシャルビジネスなど、新たな地域課題解決への取組の拡大

（3）経済成長に向けた重要なテーマ

- デジタル技術を活用するDX（デジタルトランスフォーメーション）化が必要不可欠に
- 持続可能で環境や人にやさしい経済成長に対する意識の高まり
- DX化や持続可能な経済成長のためにも人材の確保・育成が重要に

朝来市の経済成長に影響を与える要因

人口減少の速度はやや緩やかに
【統計データ】

令和元年の市内生産額、雇業者所得は減少も粗付加価値額、営業余剰は増加【産業関連表】

観光業・商業等でコロナの打撃も製造業が健闘【統計データ】

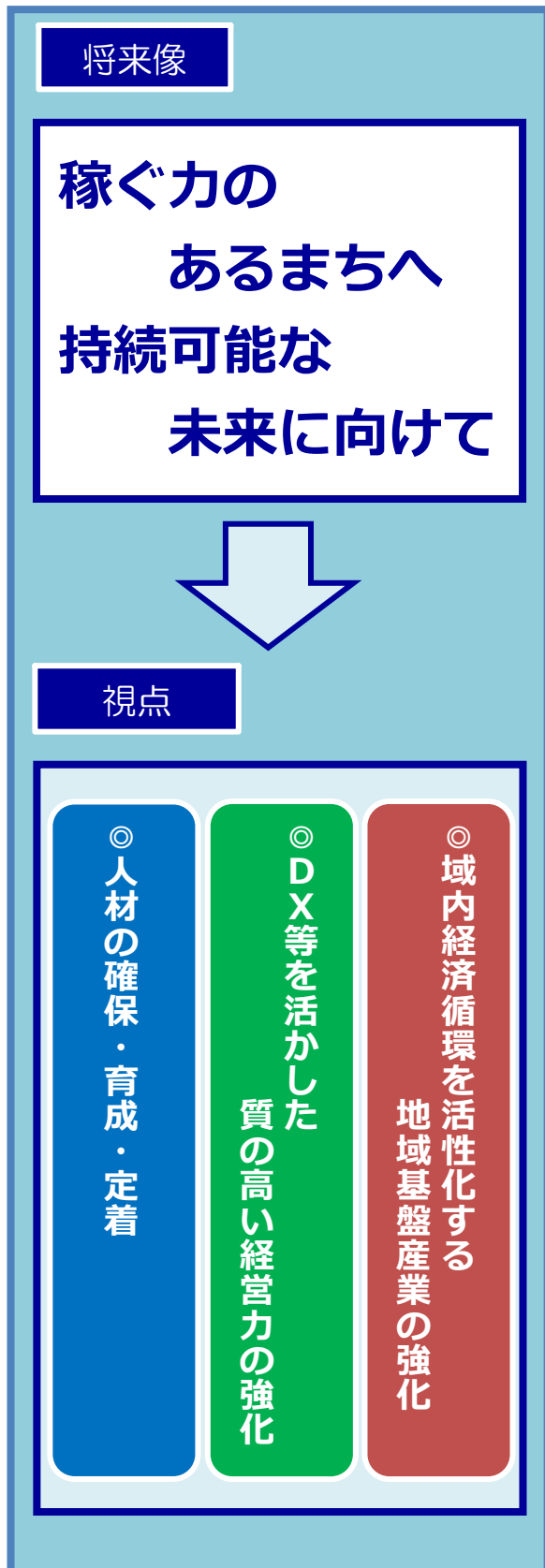
令和元年の域際収支はマイナスが続くが、5年前からは大きく改善【産業関連表】

5年前との比較では、売上は横ばいも利益が減少
【事業所アンケート】

期待する支援施策は「人材育成・人材確保」【事業所アンケート】

事業所における課題は「人材確保・育成」と「物価高」
【事業所インタビュー】

今後の日本経済の見通し
●ポストコロナの日本経済
●中長期的な日本経済



重点戦略・プロジェクト

1 挑戦する意欲を育む

- 1 企業の新事業・新展開の支援
- 2 新たな技術導入の促進
- 3 事業継続に向けた伴走支援

2 地域資源の価値を育む

- 4 市内消費喚起・循環の促進
- 5 持続可能な朝来ならではの体験の推進
- 6 付加価値の高い潤う農業の振興

3 新たな担い手を育む

- 7 若者の就業と定住の支援
- 8 多彩な人材の多様な働き方の応援
- 9 創業の促進と創業人材の育成・誘導

重点戦略 1 挑戦する意欲を育む

- 事業の発展・改革に向けて果敢に挑戦する市内製造業、そして中小・小規模事業者の活動を促進・支援するとともに、身近な成功例の紹介など意識啓発につながる情報提供の強化
- 関係機関による特性や役割を生かし、事業所の発展や事業承継に向けた取組の段階に応じて、切れ目のない支援の仕組み・体制の強化

プロジェクト 1 企業の新事業・新展開の支援



- あさご元気産業創生センターによる相談業務
- 奨励金等による企業立地支援
- 新産業団地整備
- サテライトオフィス等開設支援
- 新たな設備投資に係る支援
- 新たな事業に取り組む事業者への支援

プロジェクト 2 新たな技術導入の促進



- DX や SDGs などを導入した先進事業者の情報提供
- 新たな技術導入への支援

プロジェクト 3 事業継続に向けた伴走支援



- 中小企業融資利用支援補助
- 市内事業者の事業承継支援
- あさご元気産業創生センターによる相談業務（再掲）

重点戦略2

地域資源の価値を育む

- 国や兵庫県と連携した取組によって市内消費の拡大を企図
- 観光資源や農産品など地域資源に磨きをかけ、付加価値を高めるとともに、観光業の活性化や有機農業の産地化の推進を通じて、市外から外貨を獲得する手段を強化

プロジェクト4

市内消費喚起・循環の促進



- 商品券等による消費喚起
- 電子マネーによるキャッシュレス決済の推進
- ネット活用等市内事業者の受注機会増大支援
- 住宅リフォーム助成事業等による市内企業受注機会増大
- にぎわい創出事業等による支援

プロジェクト6

付加価値の高い潤う農業の振興



- 岩津ねぎのブランド化やお土産品の開発
- 広域出荷等に向けたシステム構築
- 新技術（スマート農業）の導入への取組
- 小規模・高齢生産者への集荷支援
- 有機農業推進への取組
- 岩津ねぎの産地拡大への取組

プロジェクト5

持続可能な朝来ならではの体験の推進



- 地域魅力の世界への発信などのプロモーションの実施
- 多言語ガイドツールなどのコミュニケーションツールの整備
- 電子マネーによるキャッシュレス決済の推進（再掲）
- 体験型コンテンツの開発や高付加価値なツーリズムの推進
- 食・特産品等の開発・商品化の推進

重点戦略3

新たな担い手を育む

- 市内事業所を知り、体験する機会等を通じて、次代の担い手となる人材の市内就業を促進
- 働きやすい、働きたくなる職場づくりを促進するとともに、多様な人材を生かす就業の仕組みや機会づくりを促進
- 関係機関が有するノウハウを生かした持続的・伴走型の創業支援の仕組みの強化

プロジェクト7

若者の就業と定住の支援

- キャリアトークカフェ、しごとゼミなど児童生徒向け市内事業所の周知
- 就活サポートブックの発行
- 福知山公立大学、芸術文化観光専門職大学等と連携したUIターン促進事業
- 合同企業説明会開催など
- シティプロモーションの推進
- 奨学金返済負担軽減事業所への支援
- 従業員の確保支援
- 市内事業所での職場体験の実施

プロジェクト9

創業の促進と創業人材の育成・誘導

- あさご元気産業創生センターによる相談業務（再掲）
- 創業塾の開催など
- にぎわい創出事業等による支援（再掲）

プロジェクト8

多彩な人材の多様な働き方の応援

- 日本語教室の運営
- テレワーク等の多様な働き方についての支援
- デジタルマーケティング人材育成
- 就職情報サイト等への企業情報掲載支援
- 従業員等研修支援

■ 施策で目指す指標

◎ 第2次朝来市経済成長戦略で特に目標とする指標

目標値(2028年)
1,050億万円

製造品出荷額等

(経済構造実態調査)



■ 各主体の役割

地域経済団体等の役割

- 地域企業の発展・改善・継続を支援する地域経済団体として、会員をはじめ経営体の強化
- 行政や支援機関、大学など研究機関等との連携による地域経済発展への主体的な役割の発揮

企業・事業者、民間活動グループ、大学等の役割

- 常に経営革新に取り組むとともに、重点戦略やプロジェクトへの積極的な企画・参加
- 良き企業市民として、まちづくりへの積極的な参画・協力

朝来市の役割

- めざす将来像を地域企業及び関係・支援機関と共有し、事業所の前向きな取組を支援
- 重点戦略・プロジェクトの企画・立案と事業所の取組を支援する環境づくり
- 新たな土地ニーズに対応した用地の確保や適切な情報提供

市民の役割

- まちづくりにおける地域産業の重要性や役割を理解
- 産業振興への協力や消費活動を通じて地域の事業者との関わりの深化

第2次朝来市経済成長戦略(概要版)

発行 朝来市産業振興部経済振興課
発行年月 令和6(2024)年3月
〒669-5292
兵庫県朝来市和田山町東谷 213-1
電話 079-672-2816/FAX 079-672-3220
ホームページ <https://www.city.asago.hyogo.jp/>